

環境デザイン

de

医療の場を整える



戸倉蓉子

株式会社ドムデザイン 代表取締役

第2回

思わず行きたくなる トイレテクニック

コロナ禍の2022年にTOTO(株)が病棟のトイレニーズを調査したところ、必要と回答を得たもののトップ5は、1位「便座除菌クリーナー27%」、2位「手で触れずに開閉できる出入口ドア25%」、3位「センサーに手をかざして水を流す便器24%」、4位「センサーに手をかざして開閉する便ふた22%」、5位「人を感知して自動で水を流す便器21%」という結果でした。感染防止という観点から非接触化は今後もますます進み、医療施設においてはあたり前になると思われます。

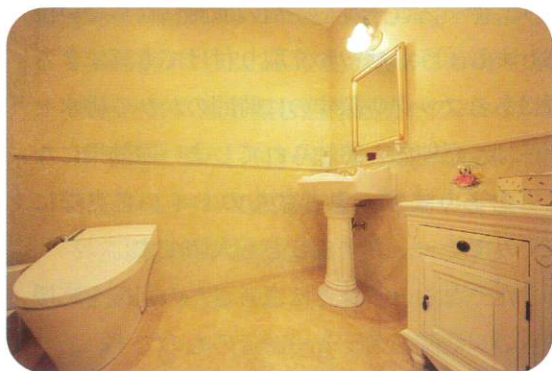
そんな時代のデザインはどうでしょう。非接触、自動化が進むと扉やスイッチ関係などあらゆるものが電気基盤を介すのでメンテナンスがしやすい直線の形、素材はアルミやステンレスなどの

メタル系が多くなるように思います。人の手によって操作されるものや手づくりのものは丸味や温かさがあります。進化系トイレになったとしても、空間が無機質で冷たくなならないよう配慮していくことは大切です。

トイレの役割とは

ここで、病院のトイレの役割を考えてみます。①排泄の場、②観察の場、③リハビリの場、④気分転換(自己解放)の場——、ほかにもあるかもしれませんが概ね4つと考えます。

①排泄の場：術後や安静を強いられる患者さんが、ベッドの上で尿瓶やオマルで排泄することは苦痛そのものです。トイレに行って気兼ねなく排



なのはな眼科

便器は白で、自由診療も見据え優雅な気分になれるペダスタル型洗面台を使用。手動の水栓金物は自動水栓に変えることも可能です。鏡に額縁を付けるとアート風になります。手洗い脇にはバッグを置ける台を。患者さんからトイレに必ず立ち寄りたいと好評を得ています。



ほうせんか病院

「仮面舞踏会」というコンセプトの外來トイレ。ベニスの仮面舞踏会をテーマに赤と黒をベースに。トイレのサインも仮面で演出。高齢者で寝たきりの方も多い病院なので家族やお孫さんが楽しんでお見舞いに来てほしいという配慮から。





神戸大山病院

壁の腰下は機能重視のトイレユニットを使用。腰上は大胆な壁紙を使用。このように壁のすべてをパネルにする必要はなく、上部は壁紙を取り入れることで殺風景さを感じてしまうユニバーサルトイレが、温かな空間に変身します。

鈴木慶やすらぎクリニック

リハビリフロアのトイレ。ニューヨークのダンススタジオをテーマにし大胆な色使いに。運動フロアなので気分をアップさせ動きたくなるデザインに。赤い手すりをポイントに。



ひかりクリニック

実はこれ採尿カップを入れるパスBOX。子供の患者さんが多いので少しでも楽しみながら検査できるようにとの思いから。クリニックに来たがらないお子さんも喜んで来院してくれているようです。

泄できることは、回復への大きな喜びです。そんな時、どのようなトイレだったら嬉しいでしょう。

②観察の場：大切なのは排泄物の色を自分でチェックできることです。黒やワインカラーなど濃い色では排泄物の色がまったくわかりません。「便器の色は何色がよいですか？」とよく新築や改築の際に相談を受けますが、迷わず「白」で大丈夫です。

③リハビリの場：オペ後など早期離床を計画する際にトイレまで歩くことも立派なりハビリになります。「汚い」、「寒い」トイレだと行くのを先延ばししてしまうこともあり、回復によくありません。「行こう」と自発的に思うことが脳にシグナルを送り回復へ導くきっかけになるものです。

④気分転換（自己解放）の場：トイレは短時間で気持ちの整理、気分転換の場になり得ます。クリニックの待ち時間にふと入ったトイレが綺麗でアートやオブジェなどがあったとしたらどうでしょう。少しイライラしていたのが穏やかな気持ちに変わるかもしれませんし、入院患者さんが病室の白い天井ばかり見つめている折、トイレの壁

紙の優しい色彩が闘病を頑張る気持ちにさせてくれるかもしれません。

小さな心配りも大切

トイレブース内には荷物を置く台やフックも大切です。便座シート、便座クリーナー等トイレに設置する物が10年前から比べて増えています。それぞれの配置をよく検討し、使いやすくしましょう。ナースコールや手摺の邪魔にならない位置にしましょう。せっかく取り付けでも高すぎる位置にあるフックや探すのに時間のかかる排水センサーは、意地悪と感じられてしまい逆効果になることもあります。患者さんのトイレを実際に使ってみてチェックすることも大切です。

行きたくなるトイレとは患者さんの回復を応援するもの、病院のメッセージそのものです。

profile

とくら ようこ：ナースとして慶應義塾大学病院に勤務後、建築家を目指しミラノの建築大学に留学。帰国後一級建築士取得。現在、女性だけの設計事務所、株式会社ドムスデザインの代表を務める。感動のある医療環境を多数デザイン。2016年、ベトナムにドムスインターナショナル設立。

一級建築士・看護師・イタリア政府認定デザイナー・宅地建物取引士